

様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回行田市スポーツ推進審議会	
開催日時	令和5年8月24日（木） 開会：13時30分 ・ 閉会：14時50分	
開催場所	行田市産業文化会館第2会議室	
出席者(委員)氏名	玉木民雄委員、伊藤佳代子委員、篠崎貴枝子委員、 川上新一委員、関口尚子委員、小松裕幸委員、秋川俊行委員、 遠藤真由美委員、大屋彰委員、村田清治委員、森田敏一委員、 根岸君枝委員、河本英敏委員	
欠席者(委員)氏名	櫻井真佐美委員、大野久美子委員	
事務局	生涯学習スポーツ課 野口課長、田中主幹、小野田主査	
会議内容	(1) 令和5年度主要事業の概要について (2) 令和5年度行田市スポーツ大賞について (3) 指定管理者選定の経緯について	
会議資料	・ 行田市スポーツ推進審議会会議資料 ・ 行田市スポーツ推進審議会追加資料集	
その他必要事項	傍聴人 2名	
会議録の確定	確定年月日	氏名記載欄
	令和5年9月12日	伊藤 佳代子
		川上 新一

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
<p>司会（田中） 教育長</p> <p>事務局（野口）</p> <p>玉木会長</p> <p>村田副会長</p> <p>玉木会長</p> <p>事務局（野口）</p> <p>玉木会長</p>	<p>1. 開 会</p> <p>2. 辞令交付</p> <p>3. あいさつ（渡辺教育長）</p> <p>4. 正副会長選出</p> <p>正副会長については、行田市スポーツ推進審議会条例第6条第2項の規定に基づき、委員の互選によりこれを定めることになっている。委員の意見を求める。事務局案として前副会長の玉木委員を会長に推薦する。また、副会長に村田委員を推薦する。</p> <p>（出席委員全員の同意を得る。）</p> <p>会長あいさつ</p> <p>副会長あいさつ</p> <p>5. 議 事（議長：玉木会長）</p> <p>会議の公開・非公開について、当審議会は基本的に個人情報等の取り扱い案件がないので原則公開とするが良いか。</p> <p>（出席委員全員の同意を得る。）</p> <p>これより議題に入る。</p> <p>（1）令和5年度主要事業の概要について</p> <p><資料2ページから4ページを基に事務局が説明></p> <p>現在、本市で取り組んでいるスポーツ・レクリエーションの振興を図るための施策や令和5年度の主要事業について説明する。</p> <p>スポーツ・レクリエーションの振興については、少子高齢化社会の急速な進展、多様化するスポーツニーズに対応するための、専門性の高い指導者の育成、いつでも気軽にスポーツに親しむことが出来る環境づくりが重要である。これらの実現のため、取り組んでいる3つの施策および令和5年度主要事業について、現時点の事業の実施状況も含め説明した。</p> <p>令和5年度主要事業等の事務局からの説明について質疑を求</p>

<p>玉木会長 事務局（小野田）</p>	<p>める。</p> <p>（質疑なし）</p> <p>次の議題について、事務局の説明を求める。</p> <p>議題2 令和4年度行田市スポーツ大賞について</p> <p><資料の5ページから14ページ・追加資料集1ページを基に事務局が説明></p> <p>行田市スポーツ大賞は、本市のスポーツ振興に貢献し、その功績が顕著である一つの地区体育協会に対して表彰するもので、当審議会で選考することとしている。選考の基準となるものは、内規に定めた競技種目の成績と、その種目参加対象年齢層に対する参加チームの割合で点数を算出する。各地区の総計と、前年度の各地区の得点、双方の増減差を比較し、成績が優秀な地区体育協会をスポーツ大賞として選考することとしている。令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により、大会が中止となった種目が多く、今回の対象種目は壮年ソフトボール大会、少年野球大会、駅伝競走大会のみとなっている。算出した得点が前年度から得点増加が高い地区は1位荒木地区体育協会、2位佐間地区体育協会、3位持田地区体育協会となっている。令和3年度、令和4年度のスポーツ大賞は対象種目が少ないため選考しないこととした。</p> <p>今年度のスポーツ大賞については、例年通り選考するか、多くの対象種目が行われていない現状により昨年度同様に選考しないかというところから考える必要がある。</p> <p>以上のことから、令和5年度のスポーツ大賞について協議していただきたい。なお、令和2年度のスポーツ大賞は荒木地区体育協会に決定しており、令和2年度、令和3年度、令和4年度の体育祭が中止となっているため、今年度の体育祭で、令和2年度分のスポーツ大賞を表彰したいと考えている。</p> <p>玉木会長</p> <p>令和5年度スポーツ大賞の事務局からの説明について質疑を</p>
--------------------------	--

	求める。
大屋委員	コロナが5類になり、これからオープンにスポーツ振興を頑張っていける。いままでコロナ禍の中で耐えて頑張ったということで、表彰はした方がよい。
伊藤委員	コロナ禍の中で大会に参加したことは素晴らしいことだと思うが、内規の中に項目が8項目ある内半分も行われていないため、今回も表彰しないほうがよい。
小松委員	今年はコロナが5類となり、多くの大会が行われるので、来年度はスポーツ大賞を決めることができる。今回は行われた種目が少ないことから、表彰を決めないで、今年度の体育祭では令和2年度の荒木地区を表彰するということが良いのではないかと。
森田委員	スポーツ大賞は大変な名誉である。多くの人たちの前で表彰されるというのは自分たちが行ったことに対する名誉なことである。大会に参加する人がいて、少ない種目でも結果が残っている以上は、表彰することが、表彰を決定する者としての努めではないかと。
河本委員	これからコロナ患者が増えてきて、大会ができなくなる可能性も数%はある。そうなる前に、表彰できるうちに実施種目が少なくても表彰はしてあげてもいいのではないかと。
玉木会長	対象種目の8種目の内、何割が実施されたらスポーツ大賞を決めることが可能か、基準がない。その辺を考えていかなければならない。
村田副会長	この内規を作ったときは、全地区に少年野球チームがあったが、現在は全地区にはない。グランドゴルフは各地区にあるが、この内規の中にはない。この内規を見直す時期になってきているのではないかと。
森田委員	チームが存在しない地区があるとなると全面的に見直す必要がある。全地区が同じスタートラインに立っていない。
村田副会長	コロナ禍で参加の見合わせをしているチームが多かった、各地

川上委員	<p>区でコロナを気にして活動を控えていたという背景があるということも、判断材料にするべきである。</p> <p>公平性が欠けている。表彰してあげたいことはあげたいが、チームが存在しない地区もある。そうすると、チームがない地区には加点されない。物差しがいま揺らいでいる。コロナ禍において活動したくてもすることができない地区もあった。公平性が保てていない。今年度の表彰はしない方がいいと考える。</p>
玉木会長	<p>皆さんの表彰してあげたいという思いもわかる。一方で、活動したくてもできない地区も多かったと思う。種目も公平性を保てないこともあり、今年度の表彰はしない方がいいのではないか。ただ、今年度の体育祭では令和2年度の荒木地区の表彰があるので、今回はその表彰を行うということでもいいのではないか。</p> <p>今後は種目を考えていくべきである。事務局で新たな選考種目を提案してもらい、今後審議していきたい。</p> <p>皆さんどうでしょうか。</p> <p>《全委員から同意を得る》</p>
玉木会長	<p>では、今年度は表彰をしない、今後選考種目を審議していく。続いて、次の議題について、事務局の説明を求める。</p>
事務局（田中）	<p>議題3 指定管理者選定の経緯について</p> <p><資料の15ページから16ページを基に事務局が説明></p> <p>体育施設の指定管理制度とは、公の施設の管理運営について、民間事業者のノウハウを活用し、経費削減や、きめ細かな利用者ニーズに対応するなど、質の高いサービスの提供を目的としており、市の体育施設については、平成18年度から導入している。指定管理者の選定については、いままでは非公募だったが、令和5年度からの指定管理者選定については制度のメリットを生かすため、公募とした。申請事業者は1業者で非公募のときから変更なく「公益財団法人行田市産業・文化・スポーツいきいき財団」に決定した。委託金額は今までより、年間約1,860万円削減</p>

<p>玉木会長</p>	<p>が図られる予定となっている。</p> <p>事務局からの説明について意見を求める。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>玉木会長</p>	<p>非常に大きなお金が動いている。施設は大事に使ってください。</p>
<p>玉木会長 事務局（小野田）</p>	<p>他に、全体を通して意見はあるか。</p> <p>追加資料集の２ページ目に、今年度の市民体育祭・地区体育祭について開催状況をまとめたものを掲載させていただいたの で参考にご覧ください。</p>
<p>玉木会長</p>	<p>各地区、コミュニケーション、健康維持増進を目的に行ってください。</p>
<p>玉木会長</p>	<p>以上で全ての議事を終了し、議長職を解かせていただく。</p>
<p>6. 閉 会</p>	